

変化の時代に向かう内外経済

東京大学名誉教授 伊藤元重

- * 三つの大きな変化
- * 一気に円安が加速
- * 資産価格を押し上げ
- * 低位安定が続いた長期停滞の行方
- * 停滞してきた設備投資をどうするか
- * 必要な産業政策的財政政策
- * GXによる成長
- * 財政健全化の目標
- * 物の見方の重要性
- * 始まった国内回帰



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、もうすっかりおなじみでございますが、伊藤先生においでいただきました。タイトルにありますように、ぐるっと時代が変わりまして、今までと違った視点が必要な時代になってきているかと思えます。いつも経済の見通し、構造変化その他、伊藤先生には非常に的確な見通しをしていただいております。本日も流動化する世界の中でどういうことが起きてどうなるか、先生に御講義をお願いしたいと思います。それでは伊藤先生、よろしく願いいたします。

三つの大きな変化

伊藤 伊藤です。よろしく願いいたします。

今日お話ししたいことは一つだけで、日本経済で言うと30年、海外だとそれが10年、20年かもしれませんが、とにかく10年、20年、あるいは30年続いた構図が大きく今変わりつつある。もちろんこの変わった結果が、さらにこれから先10年、20年、30年続くのかどうかということは、経済ですから、これから先をまた見なくては分からないけれども、どうもそうとう大きな構造変化があるのでないだろうか。

皆さんもご存じのように、その背後には、やはりこの2、3年の間に普通ではあまり経験しないような、それこそ30年、40年に1回しかないような、あるいはもっと、50年、100年に1回しかないようなことを、われわれは少なくとも三つぐらい経験していて、これが経済の構